くしろっ子

川西市立久代小学校　学校だより　平成２９年２月３日

立春　２月４日

日の出　　６：５５

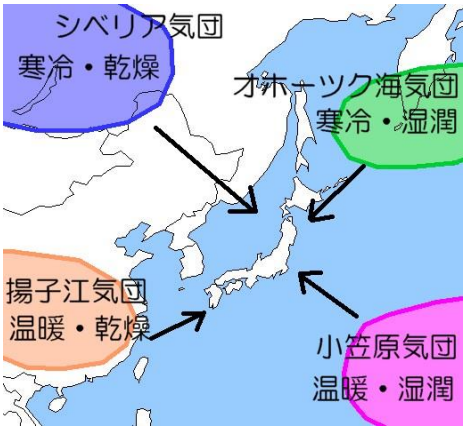
日の入り　１７：３１　冬至より３８分も「日の入り」が遅くなります。

めざす子ども像

～笑顔　咲かそう　くしろっ子！～

立春、暦の上では春！

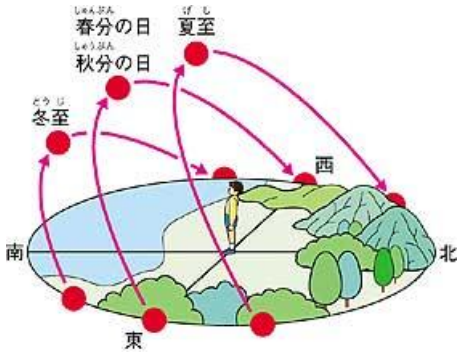
1月半ばより強い寒気団が日本列島上空に居座り、特に日本海に面した山陰・北陸地方では記録的な大雪に見舞われました。ここ阪神地域は、北は中国山脈、南は四国山脈に囲われた所で、北からの寒気団や南からの暖気団による雨や雪の大きな影響を受けることが少ないところです。



冬の代表的な気圧配置（西高東低）をとったときも水分を多く含んだ強い風に直接吹きさらされることはなく、気候的には穏やかなところです。そんなところに位置する久代地域にも積雪がありました。日本列島上空にマイナス数十度という大きな寒気団が居座ると直接強い風に吹きさらされることがなくても、今回のように冷え込みが厳しくなります。

暦の上では「春」で、太陽の南中高度（冬至：約３１，６°、立春：約３９，１°、春分・秋分：約５５°、夏至：約７８，４°）も少しずつ高くなりますが、寒さが厳しい日はしばらく続きます。

学校では手洗い、うがい、マスクの着用等、に気を付けて、健全な学校生活が送れるように指導していきますので、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



鬼は外　福は内（節分）

「節分になぜ豆まきをするか」について話します。

ある書物に、節分に豆をまく行事は１３００年も前から行われていて、２月４日の立春を迎える前の日（節分）に、「不幸なことをすべて追い払って新しい年を迎えたい」「無病息災」という願いを込めて行ったのが始まりだと記されています。

続きます→

ある村に住む人たちは次から次へと病気にかかり、苦しんでいきます。どうしたものかと考えるのですが、答えが出ません。医学が発達していない当時は、病気の原因がわからなかったのです。恐れおびえていたのですが、何とかしたいという思いから「病気や不幸の原因を目には見えない何者かが居て、悪さをしている」と考えたのです。そしてその原因は「**鬼**」だと考えたのです。

村人たちは知恵を出し合って「鬼退治」を考えます。その一つの考えが「豆まき」であったということです。鬼の嫌いなもの（イワシの頭、ヒイラギの葉、豆など）で**「鬼を寄せ付けないようにしよう」「鬼を追い払おう」**としたのです。

豆を「**魔滅**（まめ）」と書いて鬼に向かってまいたのです。

この話を読むと【節分の豆まき】は理に適っているとは言えませんが「あきらめるのではなく、解決策を考えて、いろいろと知恵を出し合って取り組むこと」の大切さを示しているから続いているように思います。

私たち人類は、衣・食・住について「よりよく、より便利に・・・」と快適さを追い続け、取り組んできました。それが現在の文化となっています。今後も、私たち人類に脈々と流れている**「考える力」**は大切にしたいものです。

書物の最後には、次のように書かれていました。「今も昔も怖いものの共通点は、みえないもの」と。「現在は医学が発達し（見えないものが見えるようになっている）ほとんどの病気が治療できるようになって怖いものがなくなっています。現代人にとって、見えにくくなっている物はありませんか」と・・・著者は「人の心」を指摘していました。

豆まき」からいろいろと話しましたが、この機会に言葉は「**心を潤す魔法の水**」にも「**人を傷つける凶器**」にもなること。「人の心」の大切さについてお子様と話していただければありがたく存じます。

フリー参観

先日のフリー参観には、たくさんの保護者、地域の皆様に子ども達の頑張る姿をご覧いただきました。給食や清掃の様子も観ていただき、普段の参観とは違う子どもたちの姿もあったのではないかと思います。

一方、観られる側の子どもも先生も気力アップスキルアップ、ブラッシュアップの一日でした。たくさんの参観者の中、心地よい緊張感を持ち、学習に意欲的に取り組めていたと思います。

２月の行事

１日(水)朝会	17日(金)くしろタイム⑤
３日(金)６年制服採寸　同伴登校日	20日(月)授業参観、懇談会（低学年）
８日(水)クラブ　（３年生見学）	22日(水)朝会
９日(木)３年社会見学	23日(木)６年PTC活動
10日(金)川西南中学校入学説明会	24日(金)授業参観、懇談会（高学年）６年校外学習
12日(日)久代自主防災訓練	27日(月)くしろタイム⑥
15日(水)同伴登校日	28日(火)　学校評議員会